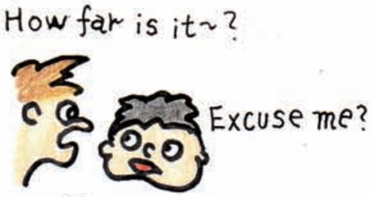
NO，　１６

２０，August

英語を楽しく

もし、「 日本人にとって英語は難しい？・英語は易しい？」と聞かれたら
さて、あなたはどう答えます？
「私は易しいところもあるけれど難しいところもある。」
と答えますね。だって、**Yes** とか **No** はもちろん **Excuse　me..**　なんて　誰もが日本語のように使っていますが、
“ **Excuse　me .**” の訳はは 「すみません。」だけでは、ありません。他の意味もあります。
もし、あなたが外国の人に、
“ **Excuse　me,　how　far　is　it　from　Hakucho　elementary　school　to　Yobe　station　？** ”
と訊かれたとき、そのことばが聞き取れなかったときに、
“ **Excuse　me,　？**”
と相手に、自分の首を傾けながら言います。 このときの



“ **Excuse　me,　？**
の意味は、英語にしますと、下記のようです。
“ **I'm　sorry　I　couldn't　understand（catch）　what　you　told　me.**
です。これが “ **Excuse　me,**　？の一言で　**OK**！なんです。

“ **I'm　sorry .**” も　「 ごめんなさい。」だけではありません。ご存知のように悲しいとき、残念なときの気持ちを表わすときにも使います。
例えば、
“ **I'm　sorry I　heard　your son had　failed　an　entrance　examination.**
あなたの息子さんが入学試験に落ちてとても気の毒に思います。　など。

なお、アメリカでは子供の頃に徹底して教えられる言葉に
“**Thank　you.**” “ **Excuse　me .**” があります。これらの言葉は常識としての言葉というのでなく、「人間として他人に対する心使いの言葉」として教えられます。洋画を観ていると、親が我が子に何かしてもらったときに
“**Thank　you.**”　そして、道を急いでいる人が他人の真横をすれるように通り過ぎるとき “ **Excuse　me .**” とよく言っています。ちなみにこの２つをしっかりと使えない人は、人格を低く見られるそうです。

I'm sorry.（何かについて謝るときの言葉ですが）　よく英会話の本に
「うっかり使うといけない、決して言うな。責任を取らされる。」
と書いていることがありますが、決してそんなことはありません。**I'm　sorry.**
の必要な時には、やはりきちんとそれが言えることが相手に誠意を伝えます。

Yoshi